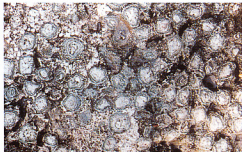




1. 円上島遠景(観音寺市教育委員会提供)。球状ノーライトの露出位置は矢印。



2. 球状ノーライト(観音寺市教育委員会提供)。個々の球状体が1個の曹灰長石で、多くは長径3~4cm。各個体の断面は角のとれた矩形~楕円状、中央部は常に無色、周縁を同心円状にシソ輝石のリムが囲む(香川の文化財、1996)。真っ白い個体も稀ではない。

円上島の球状ノーライト

＜濡木 輝一＞

香川県観音寺市沖合18kmには円形の小島、円上島(まるがみじま)がある。ここには国指定の天然記念物(昭和9年12月指定)の球状ノーライトがあって(本誌、1992、no.454、15-31参照)興味深い。見学は観音寺市教育委員会の許可が必要で、岩石標本の採集は禁じられている。



3. 露岩は見かけ幅約15m×20mの斜長岩からなる。斜長岩の層状構造とほぼ平行に、約3m×1.5mの球状ノーライトのレンズがある。



4. 斜長岩に含まれる細粒綿状塩基性岩包有岩片、包有岩の中にも球状曹灰長石が散在する。